

# 安全教育

## 安全教育の考え方

学校における安全教育は、下記の3つの分野において、子どもが自らの行動や身のまわりに存在する様々な危険をコントロールし、安全に行動できるようにすることを目的としている。教育課程の各教科・科目、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等の中に位置づけ、それぞれの特質に応じて適切に実施されるべきものである。

- ① **生活安全** …日常生活で起こる事故・事件の発生原因と安全確保の方法について学ぶ。
- ② **交通安全** …様々な交通場面における危険と安全な交通の方法について学ぶ。
- ③ **災害安全** …様々な災害にかかわる危険と安全確保の方法について学ぶ。

### ◆新しい小学校学習指導要領(平成20年告知)

#### 第1章 総則

3 ……安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科の時間はもとより、家庭科、特別活動などにおいてもそれぞれの特質において適切に行うよう努めることとする。また、それらの指導を通して、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮しなければならない。

## 家庭での安全教育

安全なはずの「家の中」でも、子どもが危険な目にあう可能性はある。災害だけでなく、宅配業者を装った強姦未遂などの犯罪に巻き込まれるケースもあり、子どもの留守番中に親の不在を確かめてから侵入する手口が多い。子どもを留守番させるときは、次のようなときの対応を家庭でよく話し合っておくことが大切である。

- 電話やインターホンが鳴ったとき。  
(対応例) どうしても応対の必要がある場合は、「親は今、手が離せません」と言って保護者の不在

を知らせないようにする。

- 留守宅に1人で帰らせるとき。  
(対応例) 鍵は見えないようにして持たせ、家に入ったらずぐに鍵をかけ、ドアチェーンをする。
- 地震や火事が起きたとき。  
(対応例) 連絡先、連絡方法、避難場所をあらかじめ決めておく。

## 取り組みの事例

### 防犯教育／千葉県船橋市

小学校2年生を対象に防犯教育用の冊子「ふなっこのぼうはん」を作成。内容は「子どもが安心して生活するために守ること」「イカのおすしをおぼえよう」「安全マップの作り方」「防犯ブザーの使い方」などで、保護者への啓発も含まれている。

また、防犯教育用冊子を映像化し、小学校1年生を対象にビデオ版「ふなっこのぼうはん」を制作。平成19年3月に各小学校へ配付し、平成19年度からビデオを使用した防犯教育を始めている。

### 交通安全教育／神奈川県

高校生自身が主体となり、学校・家庭・地域が相互に協力連携しつつ支援していく「高校生の、高校生による、高校生のための交通安全運動」である「かながわ新運動」を平成2年より実施している。具体的な取り組みは、次の通り。

- ・交通安全委員会・交通安全集会などへの参加
- ・ヤングライダースクール(二輪車安全運転講習会)への参加
- ・地区交通安全高校生大会への参加

### 防災教育／兵庫県立舞子高等学校

阪神・淡路大震災の被災地にある兵庫県立舞子高等学校では、2年間の研究・準備期間を経て、平成14年4月に環境防災科が本格的にスタートした。科目は「災害と人間」「環境と科学」「社会環境と防災」「自然環境と防災」など。年に5回、学期末に行う避難訓練に防災教育をドッキングさせるなど、「教育」を「防災」の中心にすえている。